

2018 Walk
03

【 2018春 写真アルバム 】

春の嵐が吹き荒れた翌日の“物好き Walk”

2018. 3.21.午後 by Mutsu Nakanishi 「」

妙法寺から須磨アルプス東端の東山を超えて、南の板宿へ歩く

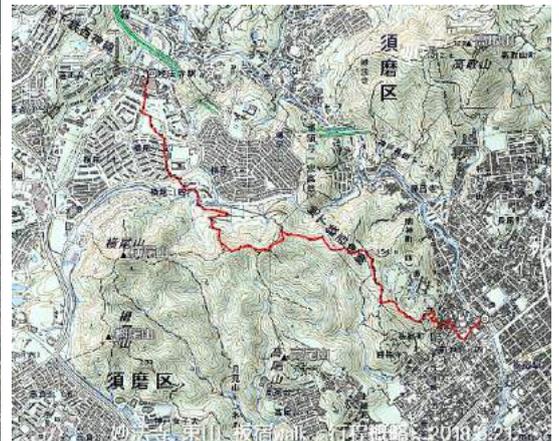


妙法寺横尾道より、須磨アルプスの東端 東山を眺める 2018.3.21.

春の嵐が吹き荒れた翌日 まだ、強い風が吹く寒い3月21日 妙法寺から須磨アルプス東端の東山を越えて、南の板宿へ歩く。目的はいつもすっきり見えぬ大阪湾対岸の二上山が見えるかもと
また、東山から板宿へ下る古道は椿の道 昨日の大風で、落下した椿が道を敷き詰めているのをイメージして。そんな期待をこめて、まだ、不安定な天候の中、ちょっとした晴れ間に、妙法寺の駅からまっすぐ須磨アルプスの東端東山を目指す。

風と弱い雨がまだ残り、時折晴れ間がのぞく、曇天の中の“小さな春を探すもの好き walk “です。でも、この1年何度も期待が外れ続けた二上山の姿を見ることができました。

また、イメージしていた椿の道にも出会え、うれしい小さな春を見つけました。 2018.3.21.夕



横尾団地 椿谷から眺める須磨アルプス 左:東山 中央:馬の背 右:横尾山

1. 妙法寺駅から南へ 横尾道の西六甲縦走路・東山登り口から東山へ



横尾道から 東山・六甲縦走路登り口へ 2018.3.21.



妙法寺 横尾道から 東に高取山を眺める 2018.3.21.
後ろ 鶴越の向こうに菊水山・摩耶山が見えている

妙法寺駅の南 須磨アルプス(東山 - 馬の背-横尾山)の北山腹を巡る散策路 横尾道より 2018.3.21.



妙法寺 横尾道で 2018.3.21.



東山の六甲縦走路への登山道 シクザクに山腹をぼぼ登る 2018.3.21.
妙法寺からは東側にもつづき 東側から登る登山道がある

視界が開けぬ隼人氏の中 シグザクながら、東山の北山腹を頂上まで登る急な階段道が続く



東山の北山腹から北西 名谷のニュータウンの奥に
高取山が見えている 2018.3.21.



東山の北山腹から東に 樹木越しに高取山の頂上が見える 2018.3.21.



東山の北山腹より 高取山から続く西六甲の山並 2018.3.21.
宇田は風むのり、奥へ奥へと展望が広がる 山頂での眺望が期待できる

東山登山道から眺める北西側名谷ニュータウンから北東側高取山周辺の景色



東山の北山腹の登山道 後半は自然石が階段の登山道 2018.3.21.



東山山頂まじか、北山腹を一直線に登って、その急な登りへ 2018.3.21.



滑りやすい雨後急坂の急な登り この上で、足場が崩れる、ヒコブツの頂上へ 2018.3.21.



登りきった直前に視界が開けた岩場 2018.3.21.
岩場に立つと西に高取山の山並が見え、その奥に高取山が見える 須磨アルプスの北山腹である



高取山と西に高取山の山並から横尾山へと続く荒々しい須磨アルプス 2018.3.21.
その奥に高取山が見える 須磨アルプスの北山腹である



東から見た高取山北西側からの展望 2018.3.21.

階段道を登り切って、頂上近く岩場に出ると、西に荒々しい須磨アルプスの姿が見える



岩場の西北端から眺める東山山腹北側の景色 2018.3.21.



南へ傾斜道を登り山頂まで東山頂上である 2018.3.21.

岩場の北側を回り込みながら南へ登りきると東西に延びる西六甲全山縦走路が稜線に延びる東山頂上山
南の海岸側がぱっと開け、大阪湾 西に 須磨アルプス馬の背の景観が広がっている



須磨アルプスの東端 東山頂上 正面が南 海岸側 2018.3.21.
道標の左側で西六甲の縦走路に合流 右に馬の背・横尾山 左に高取さん



小雨混じりの強風が吹き荒れる中 馬の背に一人 人影が見える 2018.3.21.

須磨アルプス 馬の背の岩稜の稜線縦走路 陽が照っていないので余計にくっきりと見える 東山の頂上より 2018.3.21.

2. 須磨アルプス東山の頂上から大阪湾の展望



葛城山・水越峠・金綱山と続く金剛連山ははっきり見えるのですが、連山の左端の二上山やその左にある生駒山は煙っていて 残念ながらよく見えない。ところが、刻々と変化する天候の中で、薄っすら二上山が薄っすら見えてきた。この1年 縦走路に出るといつも探していた二つこぶの二上山が 念願になって やっと見られた。





大阪湾沿に浮かぶ神戸空港の向こう対岸の連山の中に
ここ1年 はっきりした姿をとらえられなかった二上山が見えだした 2018.3.21.

ほかにも、紀淡海峡に浮かぶ友ヶ島がくっきりと。
また、神戸の市街地もいつもに増しくっきり見えて、春の嵐の効果は絶大です。



紀淡海峡に浮かぶ友ヶ島がくっきりと見えていました 2018.3.21.



須磨アルプス東山から 葛城連山 二上山遠望 2018.3.23
やっとみられたうれしい姿です

二上山の左には信貴・生駒野兼山も見え、二上山の背後には、三輪・巻向の山並び？ また、特定はできませんでしたが、金剛連山の後ろには 大峰の山々も見えていたのだろう。ホント ラッキー。登ってきたかいがありました。

3. 東山から南の板宿への尾根筋道・椿の道を下る



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 板宿へ下る 2018.3.21



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 2018.3.21



東山送電鉄塔から下へ下る細い尾根道の両側にはちょっと遅かったのですが、赤い花をいくつも付けた椿が生い茂り、登山道にも幾つも赤い花が落ちています。椿の向こうには高取山の頂上が見え、随分もう下ったと。



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 2018.3.21.
東山送電鉄塔展望台周辺





東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21.



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21.



東山送電鉄塔から板宿へ下る下り道は椿の道
片敷のぬし山に落ちた赤い花が落ちて、2018.3.21



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21.



東山送迎社前から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21



東山送迎社前から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21

4. 椿の道・椿のトンネルを抜けると眼下に板宿の街 人家はないが、里道に



椿の道を抜けると視界が開け、海岸部の街が見える
2018.3.21.



椿の道を抜けると視界が開け、海岸部の展望
2018.3.21.



また、林の中に入り、板宿神社への道をたどる。
また、人家はないが、あかるい里道に 2018.3.21.

もう 山桜が咲きだしている。先日 ここを歩いた時 満開に見えた道脇の桜はもう散り始めていました。
ここは南面の明るい場所で随分暖かいのだろう。 板宿の街はもうすぐ下である。
人家はないが、あかるい里道に 2018.3.21.



前回通った時に、花いっぱいつけていた桜がもう散っていました ここは随分暖かいようだ 2018.3.21.





東斜面へ尾根を下れば、斜面の中腹にある板宿八幡
板宿の街へおりてきました 2018.3.21.



斜面の中腹にある板宿八幡 板宿の街へおりてきました
2018.3.21.



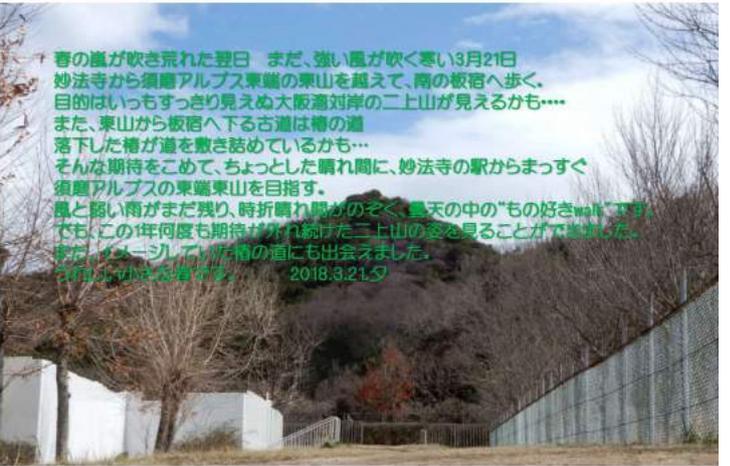
春の嵐が吹き荒れた翌日 まだ強い風が吹く寒い3月21日
妙法寺から須磨アルプス東端の東山を越えて南の板宿へ。
時折晴れ間がのぞく、曇天の中の“もの好き walk”です。
でも、この1年何度も期待が外れ続けた二上山の姿を
見る事ができました。
また、イメージしていた椿の道にも出会えました。
うれしい 小さな春です。

春の嵐が吹き荒れた翌日の“物好きWalk”
 妙法寺から須磨アルプス東端の東山を越えて、南の板宿へ行く
 2018.3.21.午後 by Mutsu Nakanishi
 大坂湾全体を見渡せるチャンス
 また、東山から板宿へ。イメージ通りの椿に覆われた椿の道
 「山道をたどれば、何かある！」物好きwalk
 満足一杯。今日は森林だと。
 2018.3.21. 板宿から妙法寺へ 神戸三木線を歩きながら



春の嵐が吹き荒れた翌日の“物好きWalk”
 妙法寺から須磨アルプス東端の東山を越えて、南の板宿へ歩く
 2018.3.21.午後 by Mutsu Nakanishi

妙法寺横尾道より、須磨アルプスの東端 東山を眺める 2018.3.21.



春の嵐が吹き荒れた翌日 まだ、強い風が吹く寒い3月21日
 妙法寺から須磨アルプス東端の東山を越えて、南の板宿へ歩く。
 目的はいつもすっかり見えぬ大阪湾対岸の二上山が見えるかも…
 また、東山から板宿へ下る古道は槽の道
 落下した槽が道を敷き詰めているかも…
 そんな期待をこめて、ちょっとした晴れ間に、妙法寺の駅からまっすぐ
 須磨アルプスの東端東山を目指す。
 風と弱い雨がまだ残り、時折晴れ間がのぞく、曇天の中の“もの好きwalk”です。
 でも、この1年何度も期待が外れた二上山の姿を見ることができました。
 また、イメージしていた槽の道にも出会えました。
 2018.3.21夕



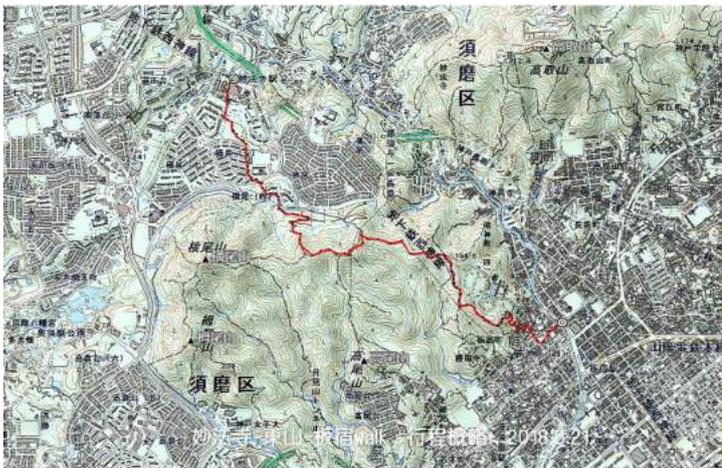
横尾団地 椿谷から眺める須磨アルプス 左:東山 中央:馬の背 右:横尾山



横尾団地 椿谷から眺める須磨アルプス東端 東山 2018.3.21.



妙法寺-東山-板宿walk 行程概略 2018.3.21.



妙法寺-東山-板宿walk 行程概略 2018.3.21.



横尾道から 東山・八甲縦走路登り口へ 2018.3.21.



妙法寺 横尾道から 東に高取山を眺める 2018.3.21.
 後ろ 鶴越の向こうに菊水山・摩耶山が見えている



妙法寺 横尾道で 2018.3.21



横尾道 東山・六甲縦走路登り口 2018.3.21



東山・六甲縦走路への登山道 ジグザクに山腹をほぼ直登 2018.3.21.
妙法寺からは東側にもう一本、東側から登る登山道がある



東山の北山腹から北西 名谷のニュータウンの奥に
高御位山が見えている 2018.3.21.



東山の北山腹から東に 樹木越しに高取山の頂上が見える 2018.3.21.



東山の北山腹の登山道 後半はほとんどが階段状の登山道 2018.3.21.



東山の北山腹より 高取山から続く西六甲の山並 2018.3.21.
今日は風もあり、良く澄んで遠望が効く 山頂での展望が期待できる



東山山頂まじか 北山腹を一旦東に巻いて、そこから頂上へ 2018.3.21.



東側から再度階段の急な登り この上で一旦視界が開ける もうすぐ頂上
2018.3.21.



登りきった所は視界の開けた岩場 2018.3.21.
岩場に立つと西に馬の背から岩稜がそそり立つ横尾山が見える



岩場に立つと西に馬の背から横尾山へと続く荒々しい稜線尾根 2018.3.21.
そそり立つ横尾山が見える。須磨アルプスの核心部である



東から登った岩場の北端から左へ岩場を登る 2018.3.21.



岩場の西北端から眺める東山山腹北側の景色 2018.3.21.



南へ続く道を登れば何もなく東山頂上である 2018.3.21.



須磨アルプスの東端 東山頂上 正面が南 海岸側 2018.3.21.
道標の左側で西六甲の縦走路に合流。右に馬の背・横尾山 左に高取さん



東山頂上から眺める横尾山 と 左奥 樽尾山 2018.3.21.



昨夜の風が残って目まぐるしく変わる天候ですが、霧が吹っ飛んで澄み渡る
東山頂上から眺める南の海岸線 期待通り 紀淡海峡がくっきりと 2018.3.21.



東山頂上から眺める西南側 馬の背・横尾山から鉄拐・旗振山・鉢伏山と続く西六甲の西端



樹木に囲まれた美しい山頂上部 2018.3.21
高角度で下の方には大磯・大磯海岸・大阪本を中心とした大展望が広がる



東山頂上から眺める北東側 高取山から西六甲の山並みが続く 2018.3.21



大阪湾の対岸に二上山を探す。右端に葛城/金剛山の鞍部水越峠が見えるのですが、いつもと同じ。二上山周辺はあやっけよく見えぬ、今日もダメかと。2018.3.21



小雨溜じりの強風が吹き荒れる中、馬の背に一人、人影が見える 2018.3.21



東山頂上から眺める南の海岸線 西六甲の西端の山々の奥 淡路島と和歌山に挟まれた紀淡海峡がくっきりと 2018.3.21



日まぐるしく変わる天候 大阪湾沿岸を眺めている間に神戸市街・神戸空港の向こう対岸の連山の中に、ついに二上山が見えた 2018.3.21



大阪湾沿に浮かぶ神戸空港の向こう対岸の連山の中に、ここ1年 はっきりした姿をとらえられなかった二上山が見えだした 2018.3.21



須磨アルプス東山から葛城連山 二上山遠望 2018.3.23.



須磨アルプス東山から 葛城連山 二上山遠望 2018.3.23.
やっどみられたつれいゝ姿です。



須磨アルプス 東山から馬の背・横尾山の稜線尾 2018.3.23.



須磨アルプスの東端 東山頂上 正面が南 海岸側 2018.3.21.
道標の左側 西六甲の縦走路を 東へ高取山・板宿へ下る



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 板宿へ下る 2018.3.21.



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 2018.3.21.



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 2018.3.21.



東山頂上から樹木の中 高取山へと続く縦走路を東へ 2018.3.21.
東山送電鉄塔展望台周辺



東山送電鉄塔から下へ下る細い尾根道の両側にはちよつと遅かったのですが、赤い花をいくつもつけた椿が生い茂り、登山道にも幾つも赤い花が落ちている。椿の向こうには高取山の頂上が見え、随分もう下ったと。



東山送電鉄塔から下へ下る細い尾根道は椿の道
昨夜の激しい風雨に幾つも赤い花が落ちてい
2018.3.21



東山送電鉄塔から板宿下へ下る尾根道は椿の道
昨夜の激しい風雨に幾つも赤い花が落ちてい。 2018.3.21



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21



東山送電鉄塔から板宿への下り道は椿の道 2018.3.21



椿の道を抜けると視界が開け、海岸部の街が見える 2018.3.21



椿の道を抜けると視界が開け、海岸部の展望 2018.3.21



また、林の中に入り、板宿神社への道をたどる。また、人家はないが、あかるい里道に 2018.3.21



もう、山桜が咲きだしている。そして先日満開に見えた道脇の桜はもう散り始めていました。ここは南面の明るい場所で随分早くから花が咲いた。人家はないが、あかるい里道に 2018.3.21



春2018 小さな幸せ探して 2018.3.12、暖かい日差しの中 桜?満開の山道で 東山/板宿の下りで



満開の寒桜、須磨アルプス 東山から板宿への下り道で 2018.3.12

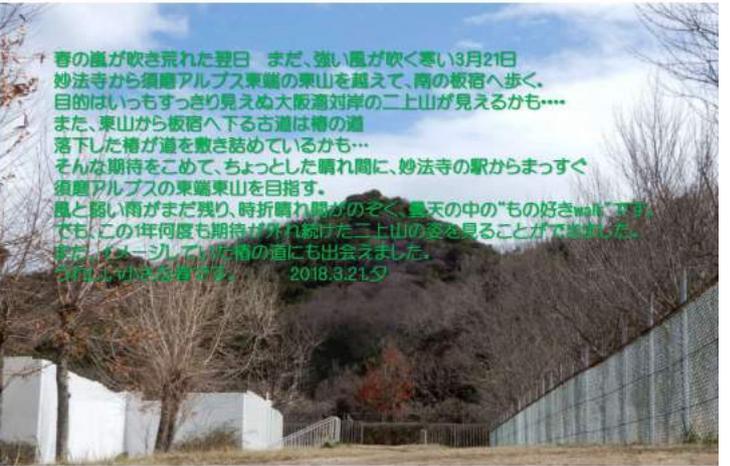


2018.3.12、東山から板宿への下り道で





板宿八幡神社からながめる北東側の高取山 2018.3.21.



春の嵐が吹き荒れた翌日 まだ、強い風が吹く寒い3月21日
妙法寺から須磨アルプス東端の東山を越えて、南の板宿へ歩く。
目的はいつもすっきり見えぬ大阪湾対岸の二上山が見えるかも…
また、東山から板宿へ下る古道は櫛の道
落下した櫛が道を敷き詰めているかも…
そんな期待をこめて、ちょっとした晴れ間に、妙法寺の駅からまっすぐ
須磨アルプスの東端東山を目指す。
嵐と弱い雨がまだ残り、時折晴れ間がのぞく、曇天の中の“もの好きwalk”です。
でも、この年何度も期待が外れた二上山の姿を見ることができました。
また、イメージしていた櫛の道にも出会えました。
2018.3.21夕



春の嵐が吹き荒れた翌日の“物好きWalk”

妙法寺から須磨アルプス東端の東山を越えて、南の板宿へ歩く

2018.3.21. 午後 by Mutsu Nakanishi

大阪湾全体を見渡せるチャンス
また、東山から板宿へ イメージ通りの櫛に覆われた櫛の道
「山道をたどれば、何かある」 物好きwalk
満足一杯、今日は祝杯だと。

2018.3.21. 板宿から妙法寺へ 神戸三木線を歩きながら



小雨湿じりの強風が吹き荒れる中、馬の背に一人、人影が見える。2018.3.21.



大阪湾沿に浮かぶ神戸空港の向こう対岸の連山の中に
ここ何年 はっきりした姿をとらえられなかった二上山が見えだした 2018.3.21.